

2018 年 10 月 18 日

セラニーズ、フランクフルト拠点でポリアセタール生産を拡大

拡大により世界最大の POM 製造工場が誕生

ダラスおよびフランクフルトー（ビジネスワイヤ）ーグローバルテクノロジーと機能性材料を提供するセラニーズ・コーポレーション（NYSE：CE）は、ドイツのフランクフルトの工業団地 Industriepark Höchst（IPH）施設にある同社のポリオキシメチレン（POM）生産ユニットの資本効率に優れたデボトルネッキング（手直し増強）を発表し、グローバルエンジニアードマテリアル事業の継続的な成長を後押しする考えを示しました。

最高執行責任者のスコット・サットンは次のように述べています。「高度な機能性ポリマーの増産を支援する今回の生産力拡大によって、POM などの高度なエンジニアードマテリアルの製造およびコンパウンドにおいて、セラニーズは今後もリーダーシップを発揮して参ります。引き続き顧客と連携していくことで、高まる一方の顧客のニーズに応え、高性能ポリマーの複雑な変化に対応する革新的なソリューションを提供します。」

セラニーズによると、IPH ユニットの生産能力を 20 キロトン拡大する見込みで、このユニットは世界最大かつ最も効率的な POM 工場になります。

「世界各地に生産拠点を擁することで、ポリアセタールの生産量と生産能力をグローバルに拡大し、世界最大のポリマーおよび化学物質拠点の効率的な運用に必要なノウハウを、セラニーズはこれからも提供いたします。IPH POM ユニットのデボトルネッキングでは、世界的な顧客需要への対応能力だけでなく、世界レベルのプロジェクトと拡張を可能にするエンジニアリング能力の知識とノウハウも示していきます」とグローバル製造部長のジョン・モーティマーは述べています。

セラニーズは、今後 18～24 か月のうちに、IPH 拠点での POM デボトルネッキングプロジェクトを完了する予定です。プロジェクトの財務情報は現時点では公開されていません。

セラニーズについて

セラニーズ・コーポレーションは、主要な産業や消費財の多くに用いられている、優れた化学ソリューションや機能性素材の製造における世界的なテクノロジーリーダーです。セラニーズの事業では、化学、技術、ビジネスに関する当社のグローバルなノウハウを最大限に活用し、顧客や従業員、株主、企業にとっての価値を創出しています。顧客と連携して喫緊の課題の解決に取り組む一方で、「セラニーズ基金」を通

News Release

じて地域社会や世界に貢献すべく取り組みを行っています。セラニーズは、米国テキサス州ダラスを拠点に、世界中に約7,700名の従業員を擁し、2017年には61億ドルの売上高を計上しています。セラニーズ・コーポレーションおよびその製品の詳細については、当社ウェブサイト (www.celanese.com) または当社ブログ (www.celaneseblog.com) をご覧ください。

すべての登録商標は、Celanese International Corporation またはその関連会社が所有しています。

=====

本件に関するお問い合わせ先：

セラニーズジャパン株式会社

担当：滑川武博

Tel: 03-6280-5285

info.general.jp@celanese.com

将来の見通しに関する記述

このニュースリリースに記載されている、当社の計画、目的、目標、戦略、将来の収益または業績、設備投資に関する情報、その他の情報などのうち、履歴情報でないものは、「将来の見通しに関する記述」である場合があります。このニュースリリースで使用されている「見通し」、「予想」、「推測する」、「期待する」、「予想する」、「企画する」、「計画する」、「意図する」、「確信する」という語やその類義語、ならびに類似表現は、将来の見通しに関する記述であることを示すことを目的としています。将来の見通しに関する記述はすべて、現在の予想および確信、ならびに様々な前提に依拠しています。当社やその顧客がこれらの恩恵に与かる保証はなく、これらの予測が正しいことが証明される保証はありません。多くのリスクと不確実性があるため、実際の業績はこのニュースリリースに含まれる将来の見通しに関する記述と大幅に異なってくる場合があります。多くの要因は当社の管理範囲を超えているため、実際の業績は将来の見通しに関する記述と大幅に異なってくる場合があります。その他のリスク要因には、当社が証券取引委員会に提出した資料に記載されているリスク要因が含まれます。将来の見通しに関する記述は、作成日の時点のみ言及しており、当社は、将来の見通しに関する記述を、作成日以降の事象や状況に応じて更新する義務を負わず、予期していた事象あるいは状況または予期していなかった事象あるいは状況の発生を反映する義務を負いません。